

小学校及び園の統合のあり方についての指針

令和3年10月

吉備中央町「魅力ある学校・園を考える会」

目次

| | |
|-------------------------|---|
| はじめに | 1 |
| 第1章 魅力ある学校・園 | 2 |
| 第2章 小学校の統合について | 4 |
| 第3章 保育園・幼稚園・こども園の統合について | 6 |
| 第4章 まとめ | 7 |
| おわりに | 8 |

参考資料

| | |
|------|---|
| 会議経過 | 9 |
|------|---|

はじめに

急速な少子高齢化社会の中で、吉備中央町も未来の町民を育成する小学校や園の在り方を検討せざるを得ない状況におかれている。

令和元年7月26日に、町長の諮問を受け設置された「吉備中央町立小学校等の適正配置に関する検討委員会」は、令和2年3月に次の骨子からなる答申を町長に提出した。

- 1 学校・園の小規模化により、教育環境や運営等に限界が生じ始めていること
- 2 そのために、学校や園の再編は避けられないこと
- 3 令和7年度を目標に現在の町立小学校9校を3校以下に再編・統合すること
- 4 保育園・幼稚園は、基本的に認定こども園に移行させること
- 5 令和6年度を目標に町立9園を3園までに再編・統合すること

以上の答申を受けて、「魅力ある学校・園を考える会」が令和3年1月に発足した。新型コロナウイルス感染症対策を行う中での会議であり、会議や先進地域への視察そのものの実施も制限されたが、熱心な議論が行われた。

「魅力ある学校・園を考える会」としては、次を骨子とした指針を提出する。

- 1 すべては、吉備中央町の未来を担う子どもたちの育成であり、子どもたちを最優先に考えること
- 2 吉備中央町は、平成16年に加茂川町と賀陽町の合併により誕生した町であり、吉備中央町としての独自性を確立する必要があること
- 3 そのため、地域の歴史や文化を教える「吉備中央町ふるさと学」が重要であること

第1章 魅力ある学校・園

統合後の学校・園については、吉備中央町の「未来の担い手である子どものため」になり、吉備中央町の「未来をつくり上げるような人材を育てる」ことを目指し、会の中で協議を行った。

また、令和2年3月の適正配置の答申書にもあるように、児童が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨できる環境や、園児が集団生活を行いながら家庭では体験できない社会・文化・自然などに触れることができる環境を目指し、町に愛着を持った児童・園児を育てるため、魅力ある学校・園となるように次の取組みを推進することを進言する。

(1) 郷土愛を育む学校づくり（吉備中央町ふるさと学）

- ・ 町内の伝統や文化を尊重し、郷土を愛する心を育む教育の充実
- ・ 地域の人とつながり、地域の人から学ぶ活動の実践
- ・ 故郷を大事に思い、地域の未来を担う子どもを育てる教育
- ・ 地産地消の推進及び食文化の継承を取り入れた美味しい給食の提供

(2) 未来を担う子どもの成長を支える学校づくり

- ・ 基礎的・基本的な学力を身につけ、主体的に学ぶ子どもの育成
- ・ 豊かな人間性や社会性の基礎を育む取組みの推進
- ・ 安全安心で、心豊かに育つ教育
- ・ 多くの人と関わり、切磋琢磨することによる学力等の底上げと更なる向上につながる教育

(3) 多様な学びができる学校づくり

- ・ 小小・小中連携の促進と、教科担任制の実施
- ・ 専門性を持った外部人材を活用した指導
- ・ 情報通信技術（ICT）を活用した指導
- ・ 地域の伝統行事や自然、農業などの体験活動を通じた、豊かな人間性や生きる力の育成
- ・ 運動、音楽、芸能など多様な分野の教育
- ・ 個性を尊重し、個々の成長に応じたきめ細やかで手厚い指導や支援を行う教育

- (4) 地域等と連携したアフタースクールが充実した学校づくり
- ・ 教科に関する内容（算数、書道、そろばん、英語など）
 - ・ 郷土学習に関する内容（伝統、祭り、歴史、自然、偉人など）
 - ・ 実技に関する内容（スポーツ、ミュージックなど）
- (5) 保護者に寄り添った園づくり
- ・ 将来はすべて認定こども園とすること
 - ・ きめ細やかで丁寧な指導と、小学校への滑らかな接続

第2章 小学校の統合について

小学校の統合については、第1章で示した魅力づくりを充分行うため、どのくらいの規模（校数）が適切であるかを会として検討を重ねた結果、次の2案を進言する。

併せて、近年の異常気象による災害対策を考慮した配置、特別支援学級の充実、また通学にあたっては、スクールバスを用いるなどの負担緩和に努め、全ての児童に均等な学ぶ機会を提供することを進言する。

なお、本会の審議の中で、統合年の先送り、必要性がある学校からの順次統合、4校以上での統合などの意見もあったことを付記する。

(1) 令和7年度に、町立小学校9校を1校に統合する案

ア 位置について

中学校隣接が望ましいと考えるが、地域性、通学時間などを勘案して決定すること。

イ 統合に伴う特記要望について

統合にあたっては、次の課題が懸念されるため可能な限り対策を講じること。

- ・ 子どもの学習環境の急激な変化（同級生の急増など）への配慮を行うこと
- ・ 統合されるまでに、授業や学校行事等で十分な連携を図ること
- ・ 施設の増設などは、将来の児童数を考慮した方法で行うこと
- ・ 各地域とのつながりを保つよう努力すること
- ・ 教育施設の適正規模を確保すること
- ・ 学校名は、既存の学校名を使用しないこと
- ・ 全ての希望者が、放課後児童クラブを利用できるように可能な限り組織を改編し、時間延長を図ること

(2) 令和7年度に、町立小学校9校を3校に統合する案

3校へ統合後、少なくとも6年間は再統合を行わないこととし、少子化対策、定住促進対策を行い、3校が維持できるよう行政がさらなる努力を行うように進言する。

ア 位置について

加茂川地区、賀陽地区、吉備高原地区へ各1校の設置が望ましいと考えるが、地域性、通学時間などを勘案して決定すること。

イ 統合に伴う特記要望について

統合にあたっては、次の課題が懸念されるため可能な限り対策を講じること。

- 授業や学校行事等で十分な連携を図り、学校間で切磋琢磨できる環境をつくること
- 学区を設けること（自由選択では児童数に偏りが生じるため）
- 学校間の質の平準化を保つこと
- 学校名は、既存の学校名を使用しないこと
- 全ての希望者が、放課後児童クラブを利用できるように、可能な限り組織を改編し、時間延長を図ること

第3章 保育園・幼稚園・こども園の統合について

公立小学校が、現在の9校から3校以下への集約となるが、共働きの保護者にとって園は不可欠であり、できるだけ働いている場所あるいは居住地に近いことが望ましい。幼児から児童への接続段階での保育園・幼稚園（認定こども園）の重要性と必要性を鑑み、できるだけ地域密着型で配置を考えることが望ましい。

また、保育園・幼稚園は基本的に認定こども園にすることとし、統合にあたっての基本的な考え方は次のとおり進言する。

(1) 園数について

保護者に寄り添った園として運営するため、統合後はすべて認定こども園に移行し、公立園は、基本として3園程度に統合すること。

ただし、子育て環境の充実を図るため、園児一人一人の発達に応じた、きめ細やかな指導ができる園児数を考慮した、柔軟な対応とすること。

(2) 位置について

位置については、小学校との連携、地域性、通園時間などを勘案して決定すること。

(3) 統合に伴う特記要望について

統合にあたっては、保護者が園児を送迎する時間を考慮し、開園時間の見直しなどの対策を講じること。

第4章 まとめ

「魅力ある学校・園を考える会」で検討した「魅力づくり」について、吉備中央町の誇る文化・歴史・自然などを、小学校教育へ計画的に導入し、新学習指導要領の視点を重視しながらも、保護者や地域の視点も最大限考慮したうえで、教育環境の改善につながるように協議を重ねてきた。

吉備中央町の地域特性や、保護者の思いなどを手がかりにして、将来を見越した児童数も考慮しながら、学校統合の方向や留意事項等の検討を行い、ここに「指針」として取りまとめた。

今後は、第2次吉備中央町総合計画に示されている、『まちづくりの方針』である「子どもたちの笑い声があふれる 懐かしくて新しいふるさとの創造」の実現に向けて、本指針に基づいて学校統合を進めることを期待する。

一方で、学校は地域コミュニティや防災、文化、スポーツ等の拠点としての機能を有し、現在の公立小学校9校が、伝統や文化を地域住民とともに育んできた歴史も合わせて有していることを再度確認しておきたい。

本指針の実現化にあたっては、『まちづくりの方針』等も勘案し、各学校や地域の実情を踏まえて、保護者や地域住民と協議・調整を行い、理解と協力のもとで進められ、吉備中央町の独自性が住民参加でつくり上げられ、未来を担う子どもたちがのびやかに、すこやかに育つことを望む。

おわりに

本会の検討を契機として、今後の学校の活性化や教育内容の充実に向けて、保護者や地域住民との前向きな議論が行われ、変化の激しい社会に対応した、吉備中央町の未来へつながる教育環境づくりや地域づくりが住民一体となって進められることを、心より願うものである。

最後に、この指針の作成にあたり、先進地視察先として御協力をいただいた、学校法人就実学園就実小学校及び早島町教育委員会の皆さま方に、心から感謝を申し上げます。

○ 会議経過

(1) 第1回 魅力ある学校・園を考える会

日時 令和3年1月26日(火) 18時30分から

場所 下竹荘公民館

協議事項

- ・ これまでの経緯説明(答申、アンケート結果、児童数の推計など)
- ・ 今後のスケジュール説明

(2) 第2回 魅力ある学校・園を考える会

日時 令和3年2月26日(金) 18時30分から

場所 下竹荘公民館

協議事項

- ・ 魅力ある学校・園についてのグループワーク

(3) 魅力ある学校・園を考える会 先進地視察(1回目)

日時 令和3年3月8日(月) 10時00分から

視察先 学校法人就実学園就実小学校

(4) 第3回 魅力ある学校・園を考える会

日時 令和3年3月29日(月) 18時30分から

場所 下竹荘公民館

協議事項

- ・ 先進地視察報告
- ・ 魅力ある学校・園についてのグループワーク

(5) 第4回 魅力ある学校・園を考える会

日時 令和3年6月29日(火) 18時30分から

場所 下竹荘公民館

協議事項

- ・ これまでの意見のまとめ
- ・ これまでの意見を踏まえた学校統合の方向性について

(6) 第5回 魅力ある学校・園を考える会

日時 令和3年7月27日(火) 18時30分から

場所 下竹荘公民館

協議事項

- ・ 統合後の学校数に対する課題について

(7) 魅力ある学校・園を考える会 先進地視察(2回目)

日時 令和3年8月17日(火) 14時00分から

視察先 早島町教育委員会

(8) 第6回 魅力ある学校・園を考える会

日時 令和3年8月24日(火) 18時30分から

場所 下竹荘公民館

協議事項

- ・ 先進地視察報告
- ・ 統合後の学校数に対する課題について(まとめ)
- ・ 小学校及び園の統合のあり方についての指針(素案)の提案と質疑について

(9) 第7回 魅力ある学校・園を考える会

日時 令和3年9月21日(火) 18時30分から

場所 農業振興センター

協議事項

- ・ 小学校及び園の統合のあり方についての指針(成案)に対する質疑について
- ・ 指針の了承について